

＜重要＞当院職員の新型コロナウイルス感染に関するお知らせ (第1報)

本日(8月4日)、新型コロナウイルス抗原検査で当院職員1名の陽性が判明いたしました。入院および外来の患者様をはじめ健診センターの受診者の皆様など当院をご利用される全ての皆様に対して多大なご心配をおかけする事態を招き、心よりお詫び申し上げます。

当該職員は、当院に勤務する内科系の医師です。8月2日(日)の朝から倦怠感があり、昼頃から38度台の発熱症状出現。当日および翌8月3日まで自宅で療養して様子を見た後、本日、発熱外来を受診。検査の結果、感染が確認されました。

同医師の発症前2日間の行動は、7月31日にマスクを着用して健診センターにおける検査業務と病棟での診療に従事したほか、1名の外来患者様の診療を担当しております。なお、8月1日(土)は休診日の為、従事しておりません。感染経路については現時点では不明であり、現在は、感染症指定病院に入院しています。

熊本市保健所と相談したところ、濃厚接触者はおりませんが、念のため、接触の可能性を有する約100名を対象にPCR検査を行い、感染の有無を調査しています。現時点では、接触者の中に症状がある者はおりませんが、検査結果が判明し次第、第2報として報告を行うことにいたします。

今後の診療につきましては、熊本市保健所との相談の上、当該医師が担当した病棟の新入院の受入れを必要期間停止いたしますが、外来診療は通常通り行います。また、健診センター内の検査室につきましては、徹底した消毒が完了するまでの間は別フロアで検査を実施します。

当院の方針としましては、今後、職員の健康確認、感染防御指導をこれまで以上に慎重に行う所存であり、また、従来より実施している入院患者さんへの面会禁止措置を継続するほか、玄関の開錠時刻の制限、院内消毒の徹底など感染対策の更なる強化にも努めて参ります。

以上、第1報としてのご報告です。何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

2020年8月4日

国家公務員共済組合連合会
熊本中央病院長 濱田泰之